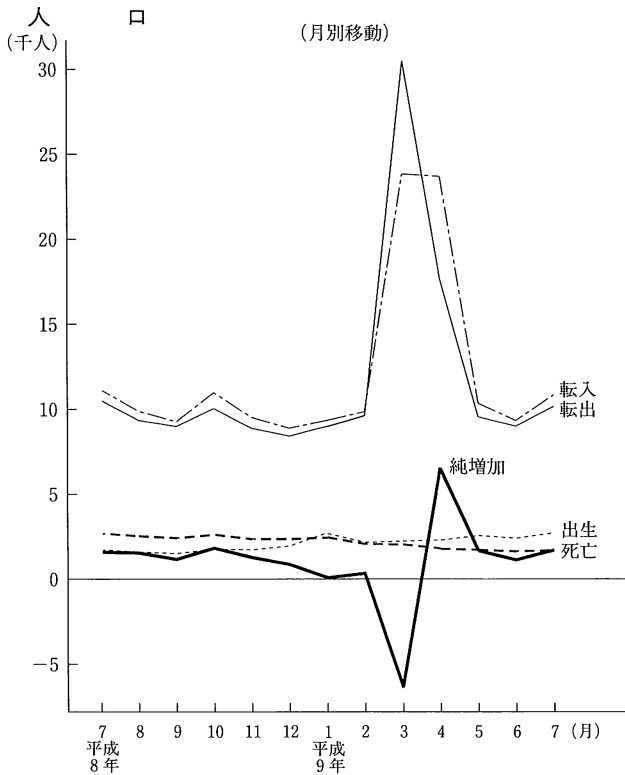
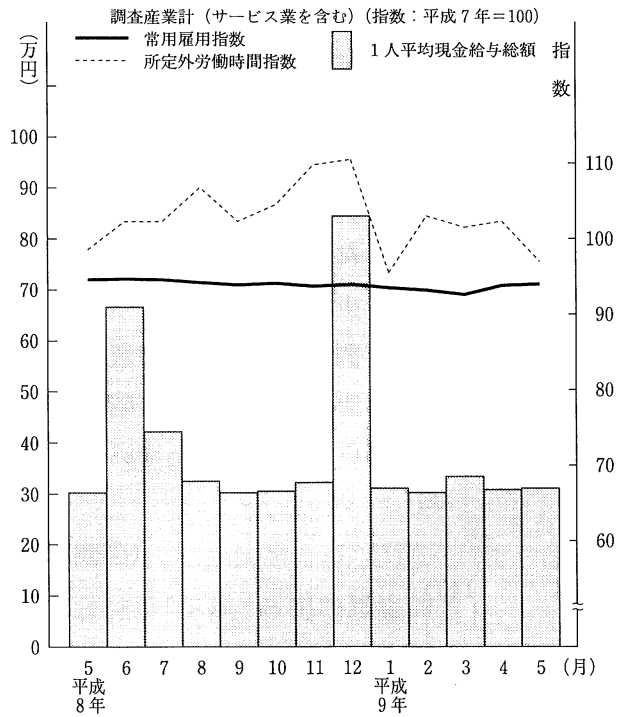


●今月の主な動き

# 今月の主な動き



賃金・労働時間・雇用



■人口 (9年8月1日)

7月の概況

本県の人口は、7月中に1,698人増加し、8月1日現在で2,977,958人(男1,487,495人,女1,490,463人)となった。

内訳は、自然動態で1,027人(出生2,711人,死亡1,684人)増加し、社会動態で671人(転入10,844人,転出10,173人)増加した。前年同月と比べると11,891人(0.4%)の増加である。

市町村別では、増加が15市40町村,減少が5市24町村,増減なしが1町である。

世帯数についても7月中に1,005世帯増加し953,271世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用 (9年5月)

1. 平均時間の推移

5月の現金給与総額は、調査産業計で310,958円,対前年同月比2.7%増,このうち,きまって支給する給与は302,814円,対前年同月比1.1%増であった。また,このうち,所定内給与は276,324円,対前年同月比1.5%増であり,超過労働給与は26,490円,対前年同月比3.5%であった。

2. 労働時間

5月の総実労働時間は、調査産業計で154.4時間,対前年同月比0.4%増であった。このうち,所定内労働時間は,141.5時間,対前年同月比0.6%増,所定外労働時間は12.9時間,対前年同月比1.5%減であった。

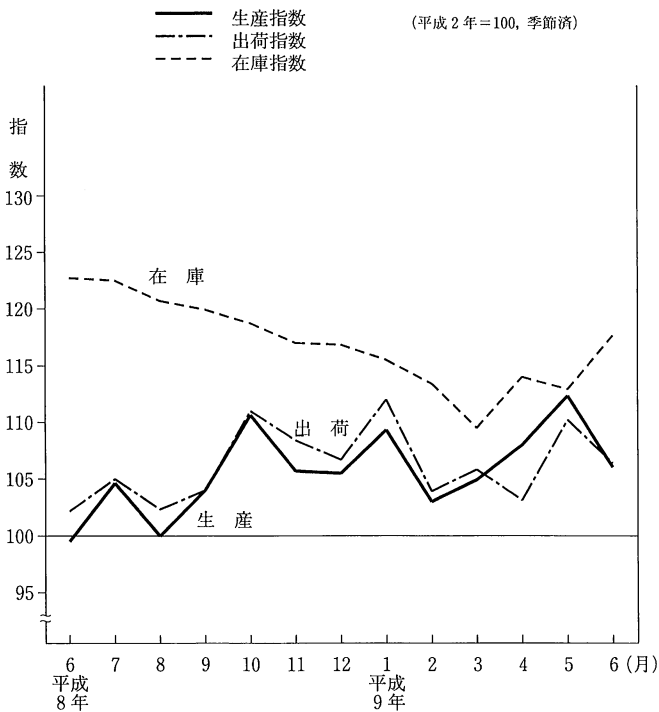
3. 雇用の動き

5月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると,対前年同月比0.6%減であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。

なお,事業所規模5人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数（生産・出荷・在庫）

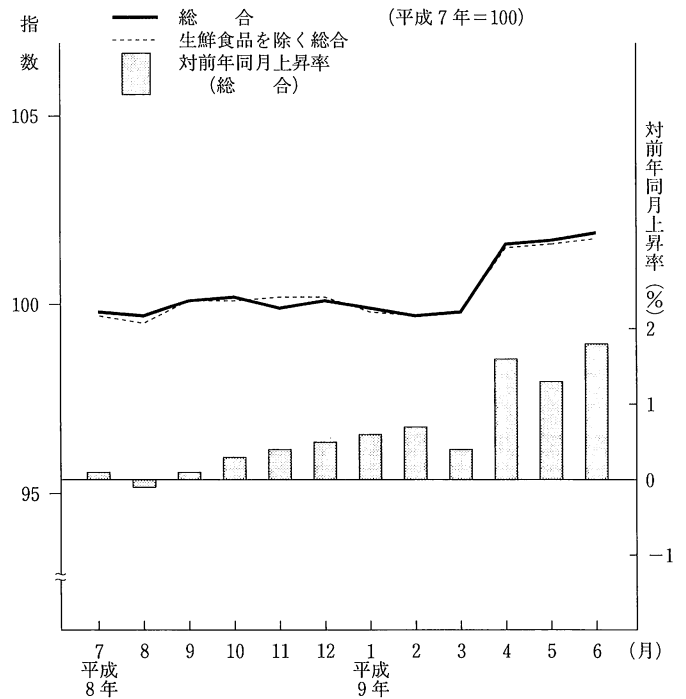


■ 鉱工業指数＜生産・出荷・在庫＞（9年6月）

本県における平成9年6月の“鉱工業指数”（平成2年＝100）は、季節調整済指数で、生産が106.5、出荷が106.4、在庫が117.6で、前月比は、生産が5.2%の低下、出荷が3.5%の低下、在庫が4.2%の上昇であった。前年同月比（原指数）は、生産が7.0%の上昇、出荷が4.2%の上昇、在庫が4.1%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、石油・石炭製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、プラスチック製品工業等が上昇し、精密機械工業、電気機械工業、輸送機械工業等が低下した。出荷では、食料品・たばこ工業、パルプ・紙・紙加工品工業、一般機械工業等が上昇し、精密機械工業、金属製品工業、電気機械工業等が低下した。在庫では、石油・石炭製品工業、精密機械工業、食料品・たばこ工業等が上昇し、その他工業、電気機械工業、繊維工業等が低下した。財別にみると、生産では、非耐久消費財が上昇し、資本財、耐久消費財等が低下した。出荷では、非耐久消費財が上昇し、その他用生産財、建設財等が低下した。在庫では、その他用生産財、非耐久消費財等が上昇し、耐久消費財、資本財が低下した。

消費者物価指数



■ 消費者物価指数（9年6月）

平成9年6月の茨城県消費者物価指数（県平均）は総合で101.9（平成7年＝100）となり、前月比0.2%の上昇、前年同月比1.8%の上昇となった。

今月の上がった主な項目…上下水道料4.9%、野菜・海藻2.8%、教育娯楽耐久財1.8%

今月の下がった主な項目…魚介類1.5%、生地・他の被服類1.3%、乳卵類1.0%、飲料1.0%

生鮮食品を除く総合は101.7となり、前月比0.1%の上昇、前年同月比1.7%の上昇であった。

■ 費用別指数

（平成7年＝100）

区 分	指 数	上 昇 率 (%)		区 分	指 数	上 昇 率 (%)	
		対前月	対前年同			対前月	対前年同
総 合	101.9	0.2	1.8	保 健 医 療	101.9	△0.4	0.1
食 料	102.7	0.3	3.0	交 通 通 信	99.3	△0.1	0.1
住 居	102.3	0.3	0.7	教 育	106.3	0.0	2.9
光熱・水道	104.4	1.0	5.8	教 養 娯 楽	98.3	△0.3	0.5
家具・家事用品	97.4	0.9	△1.0	諸 雑 費	100.9	0.2	0.6
被服及び履物	106.3	△0.4	4.5	生鮮食品を除く総合	101.7	0.1	1.7